

2162

繪本寫寶袋

九上

繪本寫寶袋九上



繪本寫寶袋九之卷目錄上

遠山小麒麟の巻

沢獣之圖

俗子給ふ云

獅子小虎之巻

獅子に牡丹之巻

花王に飛狸之巻

獅子之圖

鱖之圖

谷水小虎之巻

雨小虎之巻

松小豹之巻

雲小象之巻

波小犀之巻

松小熊之巻

松小野鹿之巻

寫錦袋九

秋意野小鹿

鐵蕉小藝文

葵に松犬乃巻

芝蔴小鳥猫

猫兒之巻

猿猴之圖

遠山

麒麟

毛詩義疏二曰

麟公毛蟲三百六十

十為之長麟形

馬足圓蹄黃色

圓文白一角其端

有肉

四書大全曰肉角

麤身牛尾

字彙曰麟麤身

牛尾馬足圓

蹄五彩

腹下黃

高一丈二尺



寫錦袋九

二

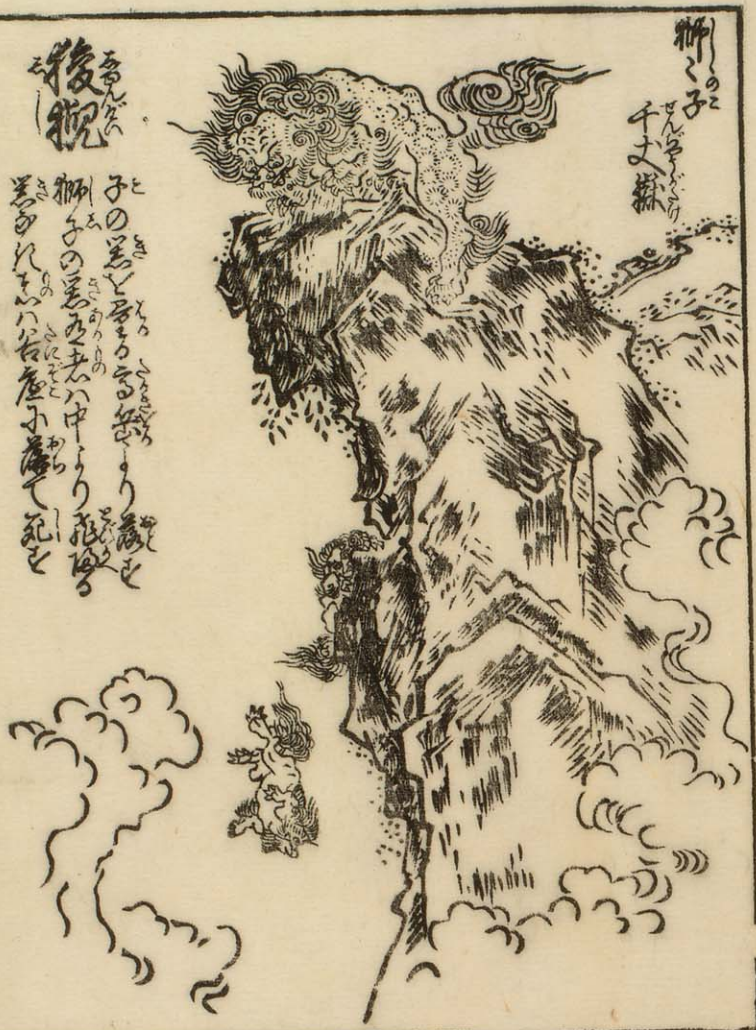
沃獸

沃獸は一門の角あり  
俗約大とりの



仕  
び  
ん

獅子  
千丈藤



後観

子のまじりたるを  
獅子のまじりたるを  
まじりたるを



獅の鬘  
 長  
 為百  
 狀虎のやう頭大  
 尾長し牝尾上  
 草毛本のや  
 釣凡解牙耳耳  
 昂鼻前相のり  
 若久まうで  
 朱すくこま

狀虎のやう頭大  
 尾長し牝尾上  
 草毛本のや  
 釣凡解牙耳耳  
 昂鼻前相のり  
 若久まうで  
 朱すくこま  
 青久藍ろく  
 あのろくま  
 中より毛合殿  
 髪をたこま



牡丹ぼたん  
飛觀とくわん



獅身  
 何げの  
 藤又何て  
 一角ありて  
 曲速に分  
 皇氏  
 龍の  
 子  
 飛  
 食



獅身

頭曰  
 獅身  
 何げの  
 藤又何て  
 一角ありて  
 曲速に分  
 皇氏  
 龍の  
 子  
 飛  
 食







雨の浦



虎の山嶽の老  
 秋翁のやぐ  
 大さ年のお  
 芳徳の章  
 龍牙  
 御健  
 舌大ふ  
 草のゆく  
 倒れし生  
 項短く  
 車輦

猫の服同鼻柱  
 虎の鼻先  
 一

一  
 一生の  
 茶豆



松小豹

其のうしろの毛をさうさうしそ  
 毛の首の面 桐虎の仕立  
 金糸の文の装すまゝに  
 中ごんらんを巻かす



松の象



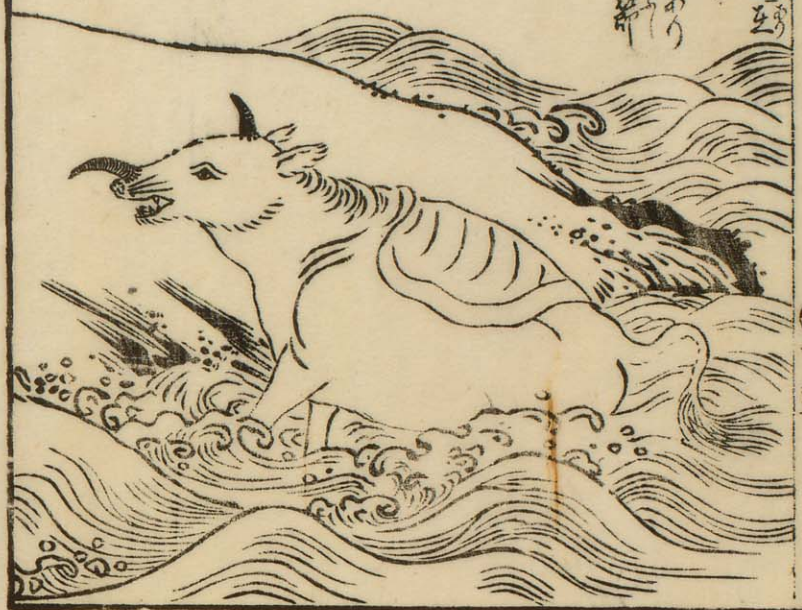
状大の肥方四面綴を  
そかしと云可ん松の  
長さありと申はるる  
象のくちと申はるる  
拵や一と云はるる  
と云はるる余り不肥  
也也久の灰白二秋あり

犀

犀 頭曰三角の頂、鬣鼻と云ふ  
二角の頂鼻と云ふあり  
水犀 背小なり、人のおき甲あり  
背の軟弱、牛後大の、若くは中節  
や、或なり、凡三蹄

仕立

甲下若くは、毛、さしこま  
思力、白く、せう、のろこま  
文の中、は、ん、を、ま  
後、ご、ん、ま  
凡、聖、の、具、為、ま、ま  
船、ご、ん、ま  
う、と、ま、と、か、り、ま



松子熊





秋野ふた粒



八雲御抄

寂道法師の云々々々の中ふゆいさ  
ゆめ花のさきさきふあさう  
あすあけなるといひつはさしよ  
あけさきしれぬのむそろく  
あひのさかひ  
あひのさかひはくまうのさかん

後指遺

かろくさし花乃意と寝おと  
さし花乃意と寝おと  
さし花乃意と寝おと

七百首御歌

年子れへ外花まをまへつて  
さしあらしの奥に花

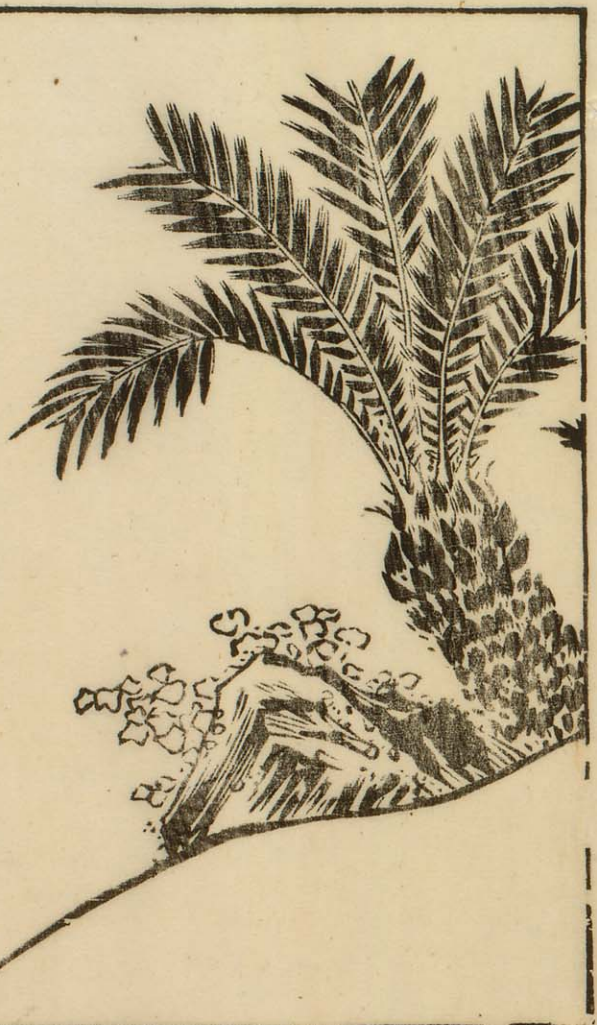


鐵蕉ニ整犬

大身の整犬  
小身の整犬  
唐大とよこ長犬



玉白赤あり柳毛あり  
若々々貴々々



紫仕立織物うら白織物  
又荒らくしきわくる仕立あり



ひょうたん  
狸犬

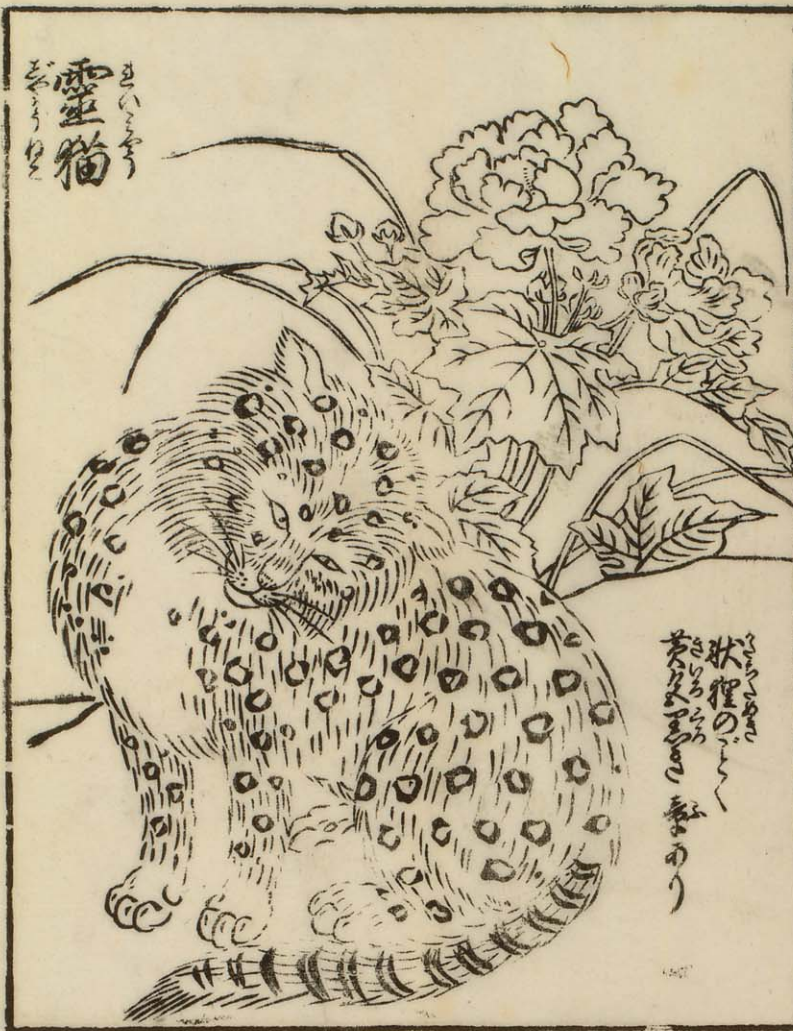
くろくろに八

ひね



水犬身





斑猫  
 斑猫  
 斑猫

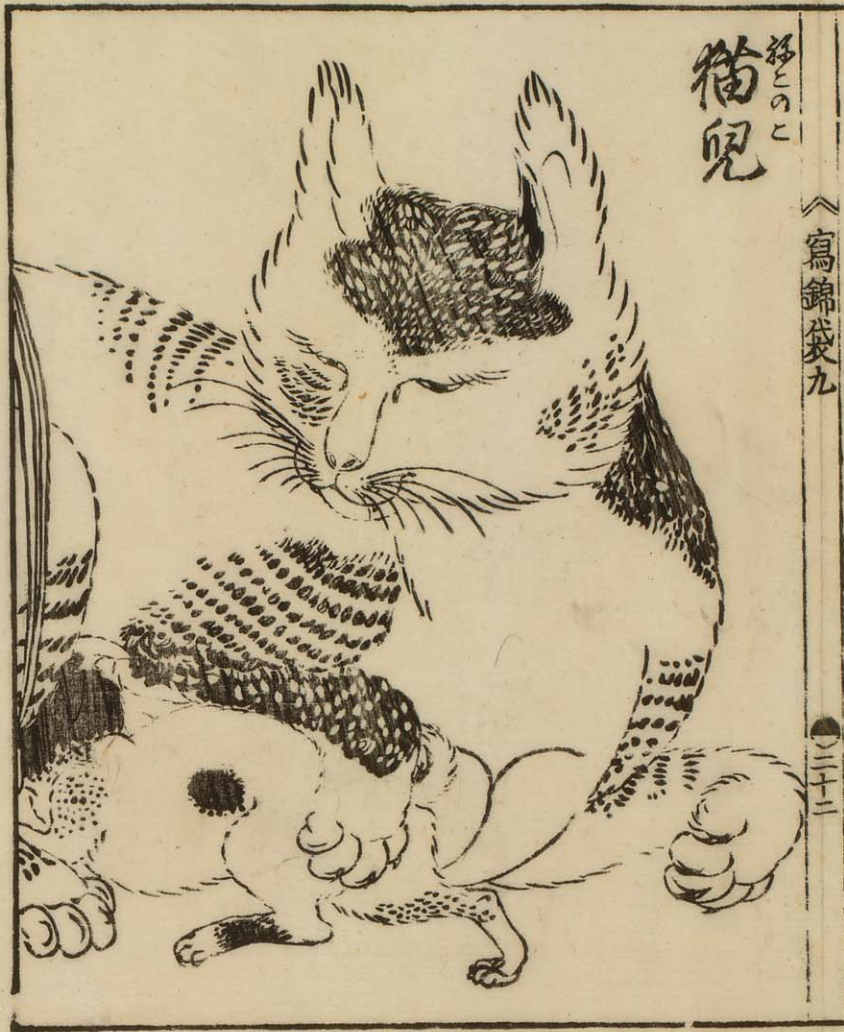
斑猫の  
 斑猫の  
 斑猫の

香  
 香  
 香



芙蓉  
 芙蓉  
 芙蓉

猫兒



猿さる

骨長猿からながさる  
佐すけ子こ友とも太たお通とおとと云い

